

令和7年度大富士小中学校グランドデザイン

学校教育目標

中学校: 志をもち 心豊かで たくましく生きる生徒
小学校: よりよい自分をつくる大富士の子

小中9年間で身に付けたい資質・能力

- ①主体性 ②対話力 ③協働性 ④思いやり ⑤粘り強さ

PDCAサイクルを機能させた
小中専門部会による9年間の連携活動

P

生徒指導

健全な心身を育成し規範意識を高める

- 豊かな人間関係を育む
 - ・グループエンカウンター
 - ・相手を思いやる言葉遣いの涵養
 - ・心を育てる道徳教育の推進
 - ・自己肯定感を高める人権教育
- 不登校対策の推進
 - ・SC、SSW、不登校支援員、外部機関等との連携
 - ・教育相談の充実
 - ・リモートでの授業実施(誰一人取り残さない)

情報

情報化社会を
生きる力を育む

- ICT機器の効果的な活用
- 情報モラル教育の推進

研修

課題を見つけ全員で学び合う授業づくり

- 魅力的な単元構想と分かる授業
 - ・資質・能力を身に付ける単元構想
 - ・教科横断的な学習を意識した単元構想
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
 - ・振り返りによる学びの調整力の向上
- ・主体的、対話的で深い学びの充実
- ・考えを持つことのできる学習課題の設定
- ・身に付けたい資質・能力の具体的な姿の共有
- 学びの基盤づくり
- 道徳教育の充実

D

特別支援

誰一人取り残さない環境づくり

- 特別支援教育の充実
 - ・一人一人のよさと可能性が生きる特別支援教育
 - ・多様性を受け入れ、互いのよさを認め合う集団づくり
 - ・合理的配慮への対応
 - ・困り感を持つ子への素早い対応
 - ・学習環境の整備(UD)

<学校経営目標>

多様な考えを尊重し、ウェルビーイング(well-being)の実現を目指す
一人一人の居場所があるあたたかな学校

家庭・地域と共に

中: 生徒一人一人が輝く環境づくり ~時を守り、場を清め、礼を正す~
小: こども一人一人を大切にする環境づくり

こどものwell-being

学校のwell-being

特別活動

一人一人が活躍し、よりよい学校をつくる

- 児童、生徒主体の特別活動
 - ・PDCAサイクルを意識した児童会、生徒会活動
 - ・児童会、生徒会の常時活動の充実
 - ・運動会、各種集会、文化発表会等の企画・運営
 - ・あたたかな人間関係づくり、学級づくり・あいさつ運動

健康体育

自らの健康を考え、
運動に親しむ

- 体力作りの推進
 - ・体力の向上
 - ・基本的生活習慣
 - ・感染症対策

富士山学習

課題を見だし、解決する力を育む富士山学習
(レッツ大富士、五翔学習の充実)

- 教科等横断的な探究学習
 - ・価値、持続性のある課題設定
 - ・調べ学習、体験活動等を通した適切な追究活動
 - ・学びや思いを表現、発信
 - ・自分の生き方につなげる
- SDGs実現に向けた教育の充実
- 命を守る防災教育

A

具体的な改善策

- ・小中専門部会、各種委員会でPDCAサイクルを短期間で動かし、全職員で共通理解
- ・学校、家庭、地域の連携と協働
- ・学力調査等の結果を基にした授業改善
- ・日常の教育相談の充実

学年主任者会

小中専門部
主任会

教務会

学年部会

分掌部会

評価

- ・単元テスト・学力調査・定期テスト
- ・アンケート調査(いじめ、i-check)
- ・月例報告・出欠席状況
- ・保健室入室状況
- ・学校評価

C

評価項目

- ・学校が楽しい(小中90%)
- ・みんなで学び合う授業は楽しい(小中90%)
- ・進んで取り組める活動がある(小中95%)
- ・進んで挨拶している(小中85%)
- ・思いやりのある言葉をつかう(小中85%)
- ・基本的生活習慣を意識する(小中90%)
- ・自分にはよいところがある(小85%)
- ・自分も周りの人も大切である(小中90%)
- ・富士山学習において、意欲的に追究を続けている。(小中85%)

コミュニティスクールの推進

- 小・中連携...小中専門部会・合同研修、授業参観、学校運営協議会
- 関係機関との連携...SC、SSW、青少年相談センター、適応支援教室アルファー、フリースクール、こども未来課、児童相談所、生活安全課、放課後デイサービス
- 家庭・地域との連携...HP、各種たより、警友会、二十歳を祝う集い、各地域ごとの行事
- 小中児童生徒の交流...PTAリサイクル活動、生徒会による新入生対象説明会